

千葉市地震ハザードマップ

中央区 液状化危険度予測マップ

発行：千葉市市民局市民部総合防災課 千葉市中央区千葉港1-1 ☎043-245-5113

液状化危険度予測マップについて

液状化危険度予測マップは、千葉市直下の地震（想定マグニチュード6.9）が発生した場合の地盤の液状化危険度を50mメッシュ単位で色で表示したものです。

《このマップの活用方法》

- わが家が建っている地盤の液状化危険度をチェックしましょう。
- 避難経路や避難場所を確認し、家族・地域で避難方法などについて話し合っておきましょう。

《注意点》









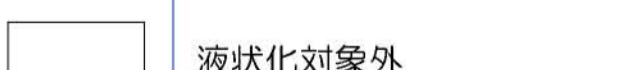
- ・地震の発生仕方によっては、液状化の危険度が変わる場合があります。あくまでも予測結果であることを理解したうえで、防災対策にご活用ください。
- ・このマップの背景図として使用した地図（千葉市都市図）は、平成14年3月に作成されたものです。したがって、一部現況と異なる場合があります。

〇問い合わせ：総合防災課 ☎043-245-5113

50mメッシュ単位の地形区分は、土地分類基本調査の地形区分図(調査時期：昭和53年-54年)を活用しています。

予測に採用したボーリングデータは、平成17年以前の調査データで、評価単位であるすべてのメッシュに対して、ボーリング調査を実施し、データを収集したものではありません。なお、液状化危険度判定の対象になった地域(着色部分)においても、地盤改良を伴う区画整理事業等により土地が変化され、液状化の危険性が低下している可能性がある地域の地形や地盤情報等は反映されておりませんので、現況と合致しない部分があります。

液状化危険度予測マップの凡例

	液状化の危険性が高い		避難場所・避難所
	液状化の危険性がやや高い		広域避難場所
	液状化の危険性は低い		急傾斜地
	液状化の危険性は極めて低い		緊急輸送道路
	液状化対象外		

液状化とは

液状化は、地震の揺れによって地盤が一時的に泥水のような現象で、地下水を含んだ砂質の地盤で発生します。この現象により、建物が傾いたり地下の埋設物が被害を受けます。

